

国際ロータリー第 2730 地区
都城西ロータリークラブ 週報

2023～2024 年度 クラブテーマ

『さあ、一緒にロータリーへ行こう』

第 2211 回 令和 5 年 11 月 29 日

都城西ロータリークラブ
創立 1976 年 3 月 10 日

URL : <http://miyakonojo.sakura.ne.jp>

会長 馬渡 浩志 幹事 山村 正一

例会場：毎週水曜日 テラスダイニング TEL 0986-45-1213
事務局：メインホテル 4F TEL 0986-25-0834
E-mail : rc2730@lily.ocn.ne.jp FAX 0986-25-0618

- 点鐘
- 合唱 手に手つないで
- ゲスト なし
- オブザーバー なし

□会長の時間 馬渡 浩志

みなさん、こんにちは。

昨日事務局からの案内がありました通り、吉元名誉会員のお嬢様 平川 真美様がご逝去されました。享年 52 才と非常にお若くして亡くなられ、大変残念なことです。ご冥福をお祈り致します。

話は変わりますが、BTV さんが発刊される「ピッキーちゃんねる」に先日の第 36 回都城ロータリー旗少年野球大会が話題の情報として掲載されましたので、こちらもどうぞご覧ください。

さて、11 月 15 日の献血では朝早くから受付や駐車場整理等ご協力いただきましてありがとうございました。

皆様のお声掛けのお陰様で当日、ロータリークラブの受付が 150 名、赤十字さんの受付の方で 124 名、総献血者数が 105 名とたくさんの方に献血のご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

また、精松会員におかれましては、朝一

番からバスの見送りまで 1 日大変お疲れ様でした。

話は変わりますが、150 と言えば先日、11 月 9 日、リージェント宮崎カントリークラブにて OUT 40、IN 42、GROSS 82 という成績で見事、精松会員がエージシュート 150 回目を達成されました。皆様拍手をお願い致します。

三坂会員から聞けば、はじめはボールに銀紙が付いたままでドライバーを打とうとした事もあられる精松さん、そこから 2 次会の飲みにも行かず練習にあけくれ、その後、三州カントリークラブのチャンピオンになられ、三州カントリークラブが閉鎖になった時は涙を流し、今では「小さな巨人」と言われるほどに成長されました。あの難コース霧島ゴルフクラブではボギーもバーディーも取らず、全てパーで回られた実績もお持ちです。

1 回だけでもエージシュートは難しいのですが、150 回達成とは本当に素晴らしい事と思います。

今後は 200 回達成を目指し、好きなお酒と女も 2 合まで、ラフと女は「カネ」を使って日々精進していただくようお願い致します。

☐ 幹事報告 山村 正一

☐ 地区 他クラブ 他団体 報告

●池之上ガバナー事務所… 特になし

☐ クラブ報告

●来週 12/6 (水) 例会場

→テラスタではなく未来創造ステーション
お弁当+お茶はテラスタ

●12/13 (水) 年次総会

3 RC 4 RC 4 役会 夜間 テラスタ

3 RC 18:00 4 RC 18:30

※ 12 月例会予定表、年末家族会

案内送信など必ず出欠をご提出ください。

☐ 出席報告

会員数	37 名	
出席免除者数	0 名	
出席数	24 名	
出席率	64.86%	
前々回修正出席率	11/15	75.68%
前回修正出席率	11/22	祝日週休会
届出有	石井 小田 川畑 平川 別府 盛田 新内	
届出無	柳田 福永 (直) 里 藤岡 外山 木下	
MU 会員		
MU 要会員(11/22)	祝日週休会	
MU 無会員(11/15)	内田 小田 大西 別府 宮原 森山 柳田 福永 里	

☐ 委員会報告

なし

■本日のプログラム

会員卓話

※別紙に記載しております

☐ S A A 報告

※別紙に記載しております

◎今後のプログラム予定

12/6 (水) 上期事業報告

12/13(水) 年次総会 (100\$ ランチ)

12/15(金) 年末家族会

12/27(水) 特別休会

	11/29	累 計
ニコニコ BOX	3,000	108,000
ゴールド BOX	6,153	32,545
ロータリー財団	\$ 200	\$ 550
米山奨学会	10,000	103,000
教育振興基金	11,000	116,000
周年準備資金	0	5,000
青少年育成資金	0	11,000
ポリオ	0	3,000

雑誌会報・インターネット・広報委員会

委 員 長：吉原 信幸

委員長補佐：徳重 幸男

担 当：李 イウ

森山謙太郎

東 淑恵



□本日のプログラム

【会員卓話】



支援プログラム委員会

前田 吉基 委員長

ロータリー財団とは

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を、世界中の人びとへの奉仕に役立てています。時間と資金、そして職業人としての経験と知識を生かして奉仕活動をするロータリアンの世界的ネットワークを通じて、ご寄付は、ポリオの撲滅や平和の推進といったロータリーの優先活動のために有効に活用されています。また、財団の補助金は、ロータリアンが貧困、識字、飢餓などの問題に持続可能な方法で取り組むことを可能とします。

徹底した資金管理、慈善団体としての高い評価、独自の資金モデルは、ロータリー財団が皆さまのご寄付を大切にしていることを物語っています。今、そして未来の世代のためにより良い世界をつくるロータリーの活動をご支援ください。

ロータリー財団の歴史

1917 年、アーチ C. クランフ RI 会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案。この基金が 1928 年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団にいたっています。

財団の成長

1929 年、財団は初の補助金 500 ドルを国際障害児協会へ贈りました。この協会は、ロータリアンだったエドガー F. “ダディー” アレンが創設したもので、後に「イースター・シールズ」(米国の慈善団体)となりました。

1947 年、ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付は「ポール・ハリス記念基金」となって、その後のロータリー財団の発展のために役立てられました。

1917 年に 26 ドル 50 セントの寄付から始まったロータリー財団は、10 億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

ロータリー財団の補助金

地区補助金

地区補助金は、地元地域や海外の地域社会のニーズに取り組む、比較的小規模で短期の活動を支えるための補助金です。補助金をどの活動に使うかは、各ロータリー地区が決定します。

グローバル補助金

グローバル補助金は、ロータリーの重点分野のいずれかに該当する、持続可能で大規模な国際的活動を支えるための補助金です。また、活動成果を測定できることも条件となります。申請は年度中いつでもご提出いただけます。

パッケージ・グラント

パッケージ・グラントによる活動は、ロータリーと戦略パートナーによって活動の大枠が既に決められており、グローバル補助金での活動と類似しています。この補助金を通じて、クラブと地区は、戦略パートナーとともに活動することができます。

重点分野

各地のロータリークラブが地元のニーズに応じた独自の活動を行っている一方、ロータリーは世界全体で重点分野を定め、できるだけ大きな活動成果をもたらす努力もしています。ロータリーでは、グローバル補助金をはじめとするリソースを提供し、以下の分野の活動を重点的に支援しています。

- 平和の推進
- 疾病との闘い
- 水と衛生
- 母子の健康
- 教育の支援
- 地域経済の発展
- 環境の保護



☐ S A A 報告

●ニコニコ BOX●

吉原 信幸…精松会員、エージシュートおめでとうございます。

精松 豊治…私のエージシュート 150 回達成記念のお祝いをしていただきました。

吉田さん、馬渡会長さん、ありがとうございました。

●ロータリー財団●

中原八重子…ロータリー財団へ

馬渡 浩志…精松さん、エージシュートおめでとうございます。

●米山記念奨学会●

馬渡 浩志…米山記念奨学会へ

●教育振興基金●

上田やよい…内田委員長、頑張ってください。

山村 正一…4 年前、甲子園出場が出来なかった子供が、今日から甲子園で試合を行っています。夢を叶えていただいた実行委員の方々に感謝です。